



**木村 秀樹**  
水曜会  
(70分)

**ものづくり従事者の確保は**

**問** ものづくりのまち福山が引き続き発展するためには、子どもたちに、ものづくりへの興味や関心を持ってもらう必要があるが、その取り組みは。

**答** 本年度、中学2年生で行う職場体験で製造業を選んだ生徒は3729人中259人となっている。



**石口 智志**  
水曜会  
(60分)

**市周辺の公共交通の在り方は**

**問** バス路線が減便になる等バス利用が伸びない背景には現行の運行実態が市民ニーズに合致していないのではないか。

**答** 地域実態や利用者ニーズを把握する中で、地域の特性に応じた公共交通への転換を図るなど日常生活を支える移動手段の確保に

る。第2次産業の事業所を選ぶ生徒が1割に満たないことは、本市の特色を生かし切れていないと捉えており、今後はより多くの生徒が体験できるような環境をつくっていく。また、各学校で行っている総合的な学習の時間などで、ゲストティーチャーを招き、将来の生き方について考えさせる、働くことの意義を見つめさせる、ものづくりへの憧れを感じさせる授業など、将来の職業や働くことについての理解を深める学習を通じて地元への愛着と誇りを高める機会の充実に努めていく。

ついて検討していく。

**ICT環境の整備は**

**問** 情報通信技術の進歩によりサービスも、教育、医療、介護・福祉などさまざまな分野に広がっている。市民が等しく享受できる環境整備が必要では。

**答** 未整備地域の光回線化については、これまでも民間事業者に対して早期の整備を依頼し、整備地域は徐々に拡大している。引き続き、民間事業者に対して積極的な事業展開を依頼していく。



**喜田 紘平**  
水曜会  
(60分)

**教育・保育行政の取り組みは**

**問** 子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら生き抜いていく力を付けていくためのキャリア教育の推進は。

**答** 子どもたちが、将来の職業や働くということについての理解を深める学習を通して、地元への



**宮本 宏樹**  
公明党  
(45分)

**義務教育学校の取り組みは**

**問** 義務教育学校設置の経緯は。

**答** 義務教育学校は、平成28年4月の学校教育法改正により、新たな学校の種類として創設された。この法改正を受け、平成31年4月に開校予定の(仮称)輛小中一貫校を義務教育学校として設置する。

愛着と誇りを高めることができる機会の充実に努めていく。

**問** 保育料も含めた保護者ニーズに合わせた保育内容を充実させる施策は。

**答** 保護者や市民のかたがたの声に耳を傾け、ニーズに沿った質の高い保育を提供していく。

また、低年齢児の保育ニーズの高まりから地域の需要に応じたさらなる保育の受け皿を確保するため、平成29年度は、受け入れ枠を約190人拡充させる計画である。

**学校教育環境の整備は**

**問** ①学校トイレの洋式化は。②空調設備設置の取り組みは。

**答** ①平成28年4月1日現在の洋式化率は、小学校22・6%、中学校29・7%。現在、災害時の応急避難場所となる小中計78校48カ所の洋式化を進めている。今後とも計画的に取り組み、3年程度で完了したい。

②成長期にある子どもの健全育成の観点も踏まえ、耐震化の進捗や学校の再配置と併せて検討する。